

半自動スウェーデン式サウンディング試験機 ジオ・スタッカーMH型

安全な建物を建てるためには地盤調査が欠かせません。個人住宅をはじめとした小規模建築物の宅地地盤調査は、スウェーデン式サウンディング試験を中心に行うことになっています。スウェーデン式サウンディング試験はボーリング調査と比べると、密な礫混り地盤等で調査不能となることや、試料の採取が出来ないために、土質判定の精度が落ちるなどの面はありますが、戸建て住宅程度であれば、地盤の硬軟や締まり具合の判定及び軟弱層の厚さや広がり of 想定に十分適用することができます。また、敷地面積が広い場合には、ボーリング調査では仮設から掘削まで数週間かかることもありますが、スウェーデン式サウンディング試験は数日で完了することが可能です。

弊社では、以前より用いられてきたこの試験に対し、省力化と調査精度の向上を目指して最新型の半自動スウェーデン式サウンディング試験機「ジオ・スタッカーMH型」（渡部工業株式会社製）を導入することに致しました。これによりさらなる工期短縮が出来ますので、早期の設計・施工のお役に立てるものと存じます。ご用命いただければ幸いです。

半自動スウェーデン式サウンディング試験機 ジオ・スタッカーMH



<仕様>

- 重量：本体・ジャッキ部 約45kg、スタッカー部 25kg
ローター+ガイド 50kg、付属ウェイト12.5kg×2
- 寸法：幅400mm×奥行850mm×高さ1150mm
- チャッキング方式：手動ショックハンマー式 φ19~35mm
- ロッド回転数：50Hz基準 約22rpm/min（半回転回数）
- 電源：単相100V 400w、トルク61Nm
- 昇降・引抜き方式：電動油圧式・加工速度バルブ調整式
- ストローク：約750mm~以上

※渡部工業株式会社 製品パンフレットより資料転載

半自動化による作業能率向上

従来のスウェーデン式サウンディング試験では、円盤状のおもりを乗せたロッドを手で回してロッドの貫入状況を記録するという方法が取られていました。おもりの上げ下ろしや記録など人の手に頼る部分が多く、また野外で長時間にわたって肉体労働を行うため、能率にはばらつきがありました。

この新型機では貫入作業を電動化し、また引き抜き作業を油圧シリンダーで行うことで、作業者の負担と労力が削減されます。これにより作業能率が向上するため、試験実施能力の向上により作業日数の短縮が可能となりました。

作業時の安全性大幅UP！

初期荷重500N(50kg)から750N(75kg)、最終荷重1KN(100kg)まで、ボタンひとつで連動的に順次荷重が可能です。急激な自沈にも下降バルブの操作で対応できます。

調査開始前にスタッカー（荷重装置）へおもりをセットすれば、後は自動で動作するため、人力でのおもりの上げ下ろし時や回転動作時におもりが落下する危険性もなく、作業員の身体能力を問うことなく安全に調査を行えます。

ライトバン1台で乗込みOK！

小型軽量のコンパクト設計かつ3つのパーツに分解可能なため、ライトバンの荷台に全て積込むことができます。そのため、乗用車が入る場所なら現場が住宅密集地でも問題なく搬入・設置が可能です。

組立はボルト・工具一切不要で簡単にできます。また本体には大径車輪が付いており、現場内での移動も容易なので、同じ敷地内で数カ所の調査が必要な宅地の地盤調査で力を発揮します。

作業風景

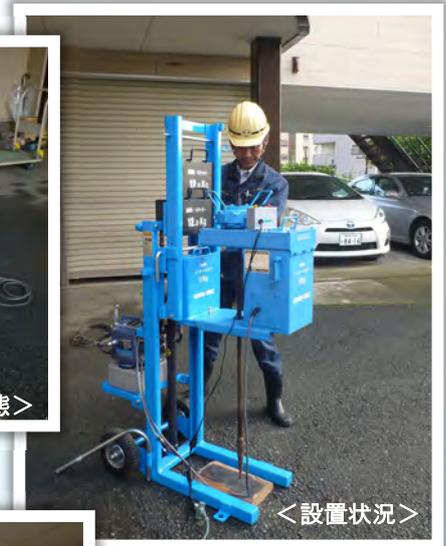


<機材搬入>

本体が分解できるので、ライトバン1台に全部積み込めます



<分解した状態>



<設置状況>



<機械操作状況>

オモリの上げ下ろしは手元のボタンをワンブッシュ



<貫入中>

転倒防止パイプ付きでデコボコ足場でも安全です



<貫入中>

ご提案

◆戸建住宅、事務所等の小規模建築物に

小規模建築物を建てる際の宅地地盤調査には、コストや所要日数からスウェーデン式サウンディング試験が適しています。

◆土木構造物の地盤評価に

河川堤防や鉄道・道路の路盤などの地盤評価にも利用可能です。

「半自動スウェーデン式サウンディング試験機 ジオ・スタッカーMH」について、ご質問等がございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

<担当:技術部 井形>



ヤシマ カイハツ

八洲開発株式会社

〒862-0920 熊本県熊本市東区月出1-1-52

TEL:096-384-3225 FAX:096-382-7039

URL:http://www.yashima-geo.co.jp